

## 農家先生と花を楽しもう！～音江っ子の花育体験～

9月12日（水）に元気村花き生産組合 音江支部の生産者8名（うち重点地区7名）が深川市立音江小学校1・2年生の児童を対象に、アレンジメント授業を実施しました。アレンジメント材料は、音江町内の生産者が栽培した花のみです。町内で最も多く栽培されているスターチス・シヌアータ（6品種）や音江特産の鈴バラ、ダリア5品種、カラー（2品種）、りんどう、オーニソガラム、テマリシモツケ（2品種）、コティナス、アナベルを使用しました。



音江支部員8名で手際良く準備します。



児童が来る前の教室は花屋さんのよう！

参加した8名の支部員で花を並べ、事前に手作りした花器に水を入れ、さながらお花屋さんのように準備していきます。授業開始前には、他のクラスの児童が「お花きれい！」「私もやりたーい！」とのぞき込んでいきました。

5時間目の授業が始まると、1年生4名、2年生12名が教室に入ってきます。前列に座った1年生は、たくさんの花に囲まれ圧倒されていましたが、次第に「あれ、ナマハゲって書いてある！」と、花と花の名前を見比べて楽しみます。

花育授業のはじめは、内藤支部長より「音江には特産の鈴バラをはじめ、多くの花が栽培されています。」と、音江の花の特徴が説明され、続いて参加した生産者がそれぞれ自分の栽培している花を説明しながら自己紹介していきました。



このお花の名前おもしろいね！  
花の名前にも興味津々。



このお花の名前わかるかな？  
私はシヌアータを作っています。



お花はやさしく触ってくださいね！



「このお花くださいーい」

今日のアレンジメントの先生は内藤安美さんです。シヌアータ、ダリア、花木など多  
種類の花を生産している生産者ですが、前職は花屋さんです。児童達にわかりやすく茎  
の切り方、花の扱い方、机への置き方などをレクチャーしていきます。

説明が終わった後はいよいよ花を選ぶ時間になります。どれにしようか悩む子もいれ  
ば、勢いよく椅子から立ち上がる子も。花を展示している花桶の前では、生産者が待ち  
構え、花首が絡まってしまわないよう選び取る手助けをします。「このお花ください！」  
「ありがとうございます！」という声が教室中に響きます。花を受け取る児童も、渡す  
生産者も、楽しいひとときとなりました。



好きな花を使った素敵な作品ができました



担任の教諭も、児童  
に負けじと熱が入り  
ます。

好きな花を選んだ後は、各自花器に挿してアレンジしていきます。注意点は伝えてい  
ますが、花の挿し方は、大人が教えるのではなく児童の思うままに行います。個性豊か  
な、色とりどりの作品がどんどんできあがっていきます。お友達や先生と見比べたり、  
何回も花の高さを調整してみたりと楽しみ方も様々です。

授業の最後には、内藤敬人さんが音江を表現した立体感のあるアレンジをお披露目し、  
児童や教諭から感嘆の声があがっていました。また、日直当番から担任の教諭へ花束の  
プレゼントが手渡されました。

今回の活動は、児童たちに花の楽しさを伝えるとともに、改めて音江の花の魅力をも  
再発見する機会となりました。今後も継続して実施し、生産者自身も楽しめるような地域  
の活動へ発展できるよう、検討していく予定です。引き続き、普及センターでは関係機  
関と協力し、活動の支援を行っていきます。